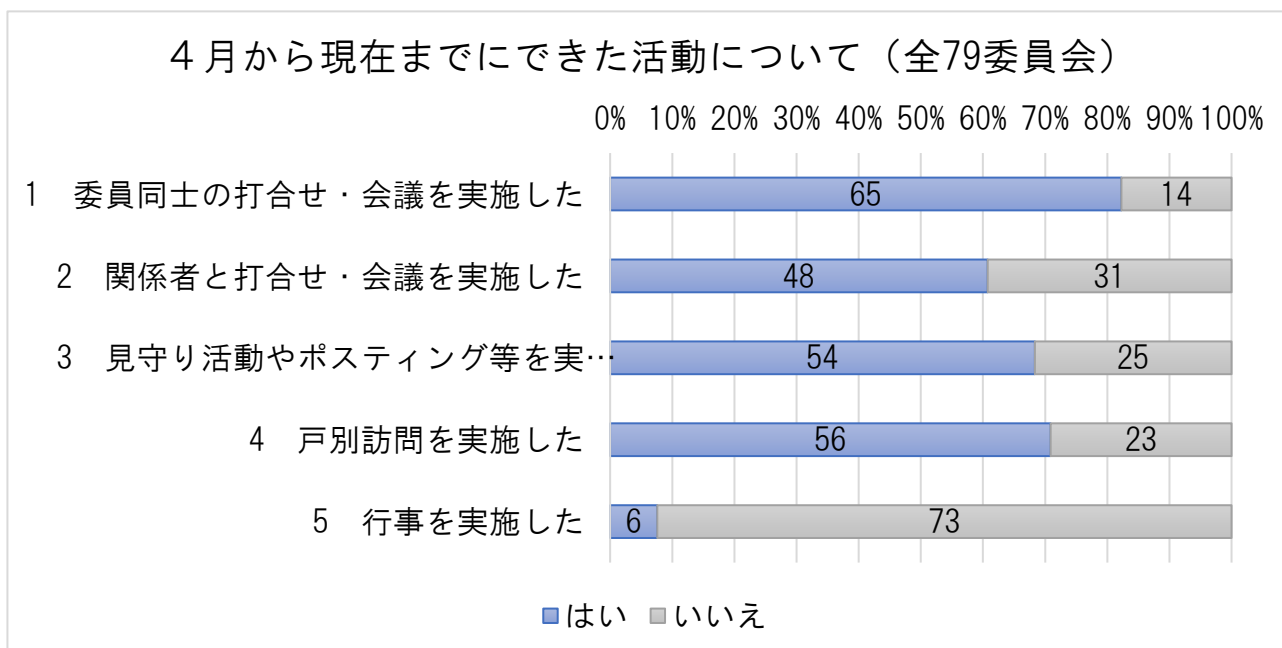


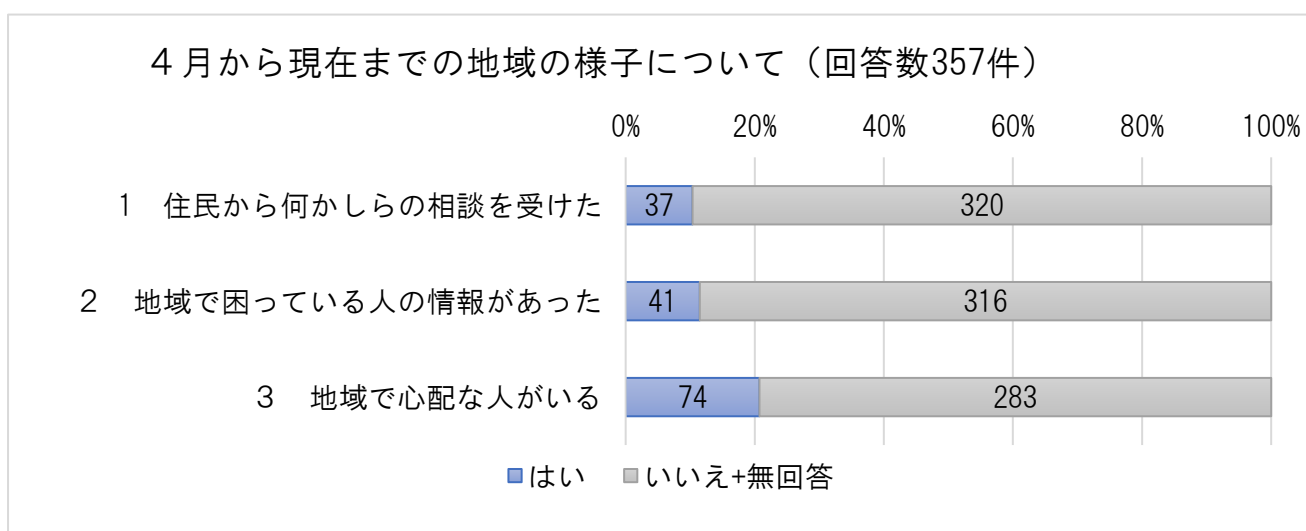
# 新型コロナウイルス感染症の影響に関する、 ふれあい福祉委員会活動アンケート 集計結果のまとめ

回答数 79 委員会/79 委員会 (回答率 100%)  
357 人/417 人 (回答率 86%)

## ■ 4月から現在までにできた活動について



## ■ 4月から現在までの地域の様子について



## ■新型コロナウイルスの影響が続く中で、今後のふれあい福祉委員会活動等について教えてください

- 1 ふれあい福祉委員として心配なことや不安に感じることについて
  - ・活動や行事ができずに、ふれあい福祉委員の役割を果たせないこと
  - ・新型コロナウイルスに感染すること、させること
  - ・地域の情報や様子がわからず、何をして良いかわからないこと
  - ・人との交流が減り人間関係が希薄になること
  - ・外出自粛による運動不足、身体機能の低下、うつなどのこと、他

### 【まとめ】

新型コロナウイルス感染症の影響により、ふれあい福祉委員会としての従前の活動（特に人を集めての行事）が出来ていない様子がうかがえる。一方で、人との交流が減り外出自粛により身体機能の低下などの心配が見受けられる。また、人と会わないことで情報収集ができずに、地域の様子や気になる方の様子がわからないままになっている。

本年度就任した新任ふれあい福祉委員も多く、本来の活動に対する不安と新型コロナウイルス感染症の不安が混ざり、例年以上に困惑している様子がわかる。

- 2 ふれあい福祉委員としてできることや新しい取り組み等の工夫について
  - ・新しい取り組みは思いつかない、難しい、不要
  - ・声かけ、見守り、挨拶、ポスティングなどの継続
  - ・感染症対策をしての軽体操、交流会、学習会
  - ・お弁当配達型子ども食堂、脳トレ DVD 作成及び配布、オンラインの活用
  - ・仕組みを変えるための検討、高齢者世帯の把握、情報共有、他

### 【まとめ】

新型コロナウイルス感染症への対応についての正解が無いなかで、新たな取り組みは思いつかないとの回答が多くみられたが、ポスティングや間接的な対応により活動を継続している様子が見受けられる。

地域の様子やふれあい福祉委員のメンバーの特性を活かした、新しい取り組みに関する意見が出てきている。ふれあい福祉委員として取り組むか、別の形で取り組むかを検討し、来年度に向けた取り組みにつなげていきたい。

- 3 ふれあい福祉委員会として社会福祉協議会に対して期待することについて
- ・活動継続のために、他の委員会の活動事例などの情報提供
  - ・研修会、講習会の実施
  - ・社協事業、サービス、ふれあい福祉委員会の周知
  - ・貧困の支援、孤立防止対策、地域共生社会、助け合いの地域づくり、他

#### 【まとめ】

ふれあい福祉委員会活動の継続を前提とした意見があり、他の委員会活動の事例や研修会等の実施により積極的に取り組む姿勢が見受けられる。社協そのものについての理解や福祉サービスの紹介などを含めて、広く周知する必要がある。

また、地域の様子や今までのふれあい福祉委員の経験から、社協に期待する意見も挙がっている。ふれあい福祉委員会だけでは対応することが難しい内容については、社協の協力、関係団体との連携又は市への働きかけも必要となる。

#### ■ その他、ふれあい福祉委員会活動全般に関してのご感想・ご意見をお聞かせください

- ・新型コロナウイルス感染症に対する意識が人により異なるため活動を自粛中
- ・普通の生活のありがたさがわかった、頑張っている人に感謝
- ・ふれあい福祉委員会の活動は大切だと感じた
- ・高齢者が多く、個々の情報を把握することが難しい
- ・どこまで関わるか、介入するか、不明なこと
- ・親切心でやろうと思っても、プライベートの線があり、なかなか難しいこと
- ・家から視野に入るような家での見守りと言う事でしたら出来るような気がする
- ・委員の高齢化、担い手不足
- ・会議や打ち合わせのリモートを希望、アンケートはインターネットの活用を希望
- ・その他、同類の感想及びふれあい福祉委員会活動以外の意見も多数（掲載省略）

#### 【まとめ】

新型コロナウイルス感染症に対する不安に関しては、個人差があるため無理をしないよう徹底すること。一方で、このような状況下でも活動しなければならないものは、感染症対策と工夫により積極的に取り組んでいくよう支援する。

親切心からの地域の助け合いで生じる摩擦や葛藤についての意見もあることから、できる限り同様の事例紹介や対処方法について周知していく。

# 新型コロナウイルス感染症の影響に関する、 ふれあい福祉委員会活動アンケート 集計結果 全回答

## ■ 4月から現在までにできた活動について どちらかに☑してください

- 1 ふれあい福祉委員同士の打合せ、会議を実施した  
はい 65委員会 いいえ 14委員会
- 2 町内会・自治会、民生委員等の関係者と打合せ、会議を実施した  
はい 48委員会 いいえ 31委員会
- 3 ふれあい福祉委員として、見守り活動やポスティング等を実施した  
はい 54委員会 いいえ 25委員会
- 4 ふれあい福祉委員として、戸別訪問を実施した（プレゼントの配布を含む）  
はい 56委員会 いいえ 23委員会
- 5 ふれあい福祉委員として、行事を実施した  
はい 6委員会 いいえ 73委員会

## ■ 4月から現在までの地域の様子について どちらかに☑してください

- 1 住民から何かしらの相談を受けた  
はい 37件 いいえ 320件

### <内容>

- ・認知症に関すること（徘徊など） 5件
- ・通院や買い物に困っていること 4件
- ・敬老会・バザーなど行事がないこと 4件
- ・コロナ禍で活動できないこと 3件
- ・庭の手入れに関すること（剪定、除草等） 3件
- ・一人暮らしの方の心配 2件
- ・高齢者が入院や入所したこと 2件
- ・人との出会い、付き合いがないこと 2件
- ・日常生活への不安
- ・シルバー人材センターで実施していた包丁研ぎがなくなったこと
- ・移送サービス利用について
- ・コロナ対策について
- ・刑事事件になる件

- ・民生委員に相談
- ・身体の事
- ・近所の方が良く相談に来る。近所の方が泥棒だ、家の中に入ってきて盗んでいく、灯油を盗む等々何回も私の家に来る。夜7時過ぎにきたり、1日に2回もきたりする。
- ・「足が悪いため町内の回覧が回ってきても次へ回すのが難儀なので、回覧を回してくれなくても良い」との申し出があったが、ルートを変えて最終として担当幹事が引き取りに行くことで解決した。

## 2 地域で困っている人の情報があった

はい 41件 いいえ 316件

### <内容>

- ・一人暮らしの方の心配 9件
- ・認知症に関すること（徘徊など）7件
- ・空き家に関すること 3件
- ・電球の交換 3件
- ・近隣トラブル（果実を盗る、頻繁に110番通報する他）3件
- ・障がいのある方 2件
- ・体調不良、転倒など 2件
- ・介護保険についての相談
- ・民生委員と情報共有
- ・コロナ禍で交流がないこと
- ・市の高齢者見守り事業の依頼
- ・買い物、通院、外出時の支援、補助について
- ・交通の便が悪い（水道工事のため通行止めが多いこと）
- ・イノシシやサルによる農作物への被害
- ・可燃物収集袋をカラスに破られゴミが散乱。簡易ゴミ入れを作ったあげた。

## 3 地域で心配な人がいる

はい 74件 いいえ 283件

### <内容>

- ・高齢者の一人暮らし 25件
- ・認知症の疑い 10件
- ・引きこもりの心配 6件
- ・高齢者の増加 4件

- ・高齢夫婦世帯 4件
- ・高齢の親と中年の子どもの世帯 5件
- ・障がいのある方 3件
- ・近隣トラブル 2件（110番通報）
- ・歩行時の転倒 2件
- ・コロナ禍で思うように行動できないこと
- ・民生委員と情報交換
- ・以前ご近所に住んでいた方が家売って他に行かれたが、不動産屋さんとの件で大変な目にあっているという噂を聞いた。
- ・1人は病院から施設へ。1人は不安が強い。民生委員から市の職員の方へ連絡がいったと思うが、その後について職員の方から連絡なし。
- ・12月20日において体調不良者で入院者が4名確認。高齢世帯だが子どもが頻繁に来ている。

## ■新型コロナウイルスの影響が続く中で、今後のふれあい福祉委員会活動等について教えてください

### 1 ふれあい福祉委員として心配なことや不安に感じることについて

- ・活動や行事ができない、役割を果たせないこと 60件
- ・新型コロナウイルスに感染すること、させることへの不安 36件
- ・地域の方の情報が入らず、様子が分からないこと 20件
- ・委員の高齢化、後任がないこと 13件
- ・一人暮らしの心配 12件
- ・外出自粛による運動不足、身体機能の低下 10件
- ・新人のため、まだ様子が分からないこと 9件
- ・外出自粛による引きこもり、孤立、孤独死 8件
- ・委員として、どこまで介入したらいいのか分からないこと 7件
- ・何かできることはないか模索中（電話やポスティングなど） 7件
- ・新型コロナウイルスに対する意識に個人差があること 6件
- ・新型コロナウイルスや詐欺があるので、訪問していいのか不安があること 6件
- ・何をして良いかわからないこと 6件
- ・自分自身に持病がある、体力に自信がないこと 6件
- ・人との交流が減り、人間関係が希薄になること 5件
- ・認知機能の低下、うつなどの心配 5件

- ・感染防止対策の提示を希望 4件
- ・家族などが対応しているので心配していない 3件
- ・災害時の対応 3件
- ・町内会・自治会を抜ける方が多いこと 3件
- ・コロナ禍の後は価値観が変わること（プライバシーなど） 2件
- ・高齢者など一部の方への活動が多く不公平 2件
- ・活動で感染者が出た時の対応、責任 2件
- ・訪問時、話が広がらないこと
- ・あきる野市の感染者情報を一部でも公開希望
- ・今は我慢のとき
- ・町内会・自治会との関わり方
- ・お年寄りにはガンコな方が多いこと
- ・空き家、売地が増えていること
- ・活動の在り方の見直しが必要
- ・委員の選出をどうすればよいのか？引き受けてくれる方がいないのが現状。良い方法を考えていただけたらと思う。

## 2 ふれあい福祉委員としてできることや新しい取り組み等の工夫について

- ・新しい取り組みは、なし（不要、難しい、思いつかない） 54件
- ・声かけ・見守り・挨拶 37件
- ・ポスティング 16件
- ・個別訪問（工夫） 16件
- ・何かできないか模索中 11件
- ・電話の活用（実践中、検討中） 10件
- ・お花などのプレゼント配布 7件
- ・サロン、交流会など開催の工夫 7件
- ・町内会や民生委員などと情報共有し、協力しあうこと 6件
- ・屋外での活動（ラジオ体操、ウォーキングなど） 6件
- ・高齢者全世帯の把握（リスト、マップ、訪問） 4件
- ・話し相手や相談 4件
- ・他団体の活動、やり方をモデルにすること 4件
- ・コロナが落ち着くまで静観（動かない） 4件
- ・高齢者が主体的に行う助け合いの仕組みづくり 3件
- ・若い世代との交流（多世代交流） 3件
- ・家で出来るボランティアの推進（折紙、ビニールエプロン） 3件

- ・少人数での活動 3件
- ・情報収集と把握を推進 3件
- ・孤立防止 2件
- ・楽しい情報を提供（お笑い、川柳、歌詞など） 2件
- ・子どもの虐待の心配
- ・一人暮らしの不安への対策
- ・人とのふれあい、絆を大切にすること
- ・福祉についての気運を高めること
- ・仕組みを変えるための検討
- ・感染症対策
- ・会議は昼間を希望（換気で寒いため）
- ・町内会・自治会加入促進
- ・学習会（認知症、引きこもり）
- ・小物づくり
- ・お弁当配達型こども食堂
- ・軽体操や脳トレなどのDVDを作成し配布
- ・スマートスピーカーの活用（見守り）
- ・SNS活用
- ・オンラインイベントの実施（子育て世代）
- ・バザー品のネット販売

### 3 ふれあい福祉委員会として社会福祉協議会に対して期待することについて

- ・特になし 36件
- ・他地区の活動事例など情報提供 22件
- ・活動継続に向けてのサポート（指導、予算の確保） 13件
- ・従来の活動の継続 9件
- ・研修会・講習会の実施（参加型のシンポジウム、専門家など）6件
- ・お互いを思いやる福祉の土壌づくり 5件
- ・社協のサービスなどの周知 4件
- ・ふれあい福祉委員会の周知 3件
- ・安心して暮らせる福祉を目指すこと 3件
- ・無理に活動をしないこと 3件
- ・社協事業の見直しを実施 2件
- ・福祉バザーの方法の見直し（募金にするなど） 2件
- ・会議や研修の開催時間の変更（夜間は換気で寒い） 2件



- ・あきる野市の正確な感染状況の情報提供 2件
- ・地域共生社会、助け合いの地域づくり 2件
- ・バザーなど行事が出来ず残念 2件
- ・助成金の増額 2件
- ・孤立防止の対策 2件
- ・高齢者向けの新型コロナウイルス対策、健康に関する企画の実施
- ・感染症対策をしての行事開催
- ・訪問時に活用できるパンフレットなどの情報提供
- ・書類が多いので簡素化希望
- ・ラジオ体操のパンフレットの配布
- ・社協から見守り対象者へ励ましの手紙を郵送
- ・町内会加入促進
- ・はつらつセンターによる説明会の実施
- ・高齢者の把握、身内の連絡者の有無を電子化
- ・貧困の支援
- ・自分たちの気持ちが大事
- ・高齢化が進み、今後が大変委員は話を聞くことはできても、対象者の生活の中にまで立入れないので、つなげる方法を考えて欲しい。現状は人対人になるが、市で行っている電話とかポットといった生存確認を総合的に統括したシステムを考えて欲しい。
- ・来てもらいたくない、ご家族（息子さん）に訪問を拒否された場合などデイサービスに行っていると、ケアマネジャーが見守りに来ていることが分かれば少しは安心するのですが、そういう情報を教えてもらうことが出来ますか？

→個別訪問のご対応ありがとうございます。誰がいつどのように見守りをしているかは把握しておりませんので、そのような情報をお伝えすることができません。他の員会では、町内会長・自治会長、民生・児童委員等の関係団体にご相談のうえ情報を共有していることが多いです。

#### ■その他、ふれあい福祉委員会活動全般に関してのご感想・ご意見をお聞かせください

- ・特になし 20件

#### <新型コロナウイルス関連>

- ・コロナ禍が収束し通常の活動が出来るようになること 17件
- ・コロナ禍で活動を自粛中 7件
- ・感染症に対する意識が人によって異なること 2件

- ・あきる野市から、昨今のコロナ禍での高齢者への対応についての情報発信が少ないこと
- ・新型コロナウイルス感染症への恐怖
- ・コロナ禍で自宅に閉じこもりがちなこと
- ・新型コロナウイルスに負けず、頑張っている人に感謝
- ・普通の生活のありがたさが分かったこと

### <ふれあい福祉委員の活動>

- ・ふれあい活動は大切だと感じたこと 7件
- ・活動で喜ばれ、役に立てると嬉しい、やりがいを感じることに 7件
- ・地域の役に立てるよう務めること 7件
- ・町内会や民生委員等との協力関係が大切 5件
- ・見守り・声かけを実施 5件
- ・今年は集まって楽しめる行事がなくなり残念 5件
- ・活動が出来ず残念 5件
- ・活動事例やヒントの紹介 4件
- ・出来る事、方法を検討中 4件
- ・どのように活動したらいいのか難しいこと 3件
- ・活動はどこまでが良いのか、これで良いのか不安なこと 2件
- ・高齢者が多く、個々の情報を把握することが難しいこと 2件
- ・家ボラの実施（ビニールエプロン、使用済み切手集めなど） 2件
- ・行事参加者だけ恩恵があるなど不公平があること 2件
- ・敬老会は今後記念品配布のみで良いのではないかと思うこと
- ・年間の活動が多方面に展開していること
- ・他地域との活動量の違い
- ・活動内容の見直し、削減
- ・活動内容の把握
- ・行事のマンネリ化
- ・少人数での活動を実施
- ・毎月電話による見守りを実施（8回）

### <見守りについて>

- ・一人暮らしの方が心配 2件
- ・人とのつながりが希薄になっていること
- ・どこまで関わるか、介入するか、不明なこと
- ・民生委員のような名簿があると検討しやすいが、広範囲のため漠然とした状態。
- ・ソフトな見守りも、なかなか力不足には難しい活動であること

- ・親切心でやってやろうと思っても、プライベートの線があり、なかなか難しいこと
- ・自分の担当地域が何事もなく平穏であること
- ・個人的に「見守り」について：家から視野に入るような家での見守りと言う事でしたら出来るような気がするが、見守り対象のお宅に月1回でも伺うというのはちょっとどうかと思った。
- ・昔からの引き売りの方がいるので、そこでコミュニティーがあり情報交換をしているそう。委員をしている自分より皆さん情報をたくさん持っている。
- ・特に一人住いの方などは、月にあるいは週に数回、お子さんが様子を見に来て下さるので、私たちとしても大変心強いと思っている。
- ・前任者の方が、訪問先で「あなたがタオル1枚庭に干しておいてくれれば会えなくても元気であることが分かる」と伝えたところ、私の代に変わっても、男性一人住まいのその方の庭にはちゃんとタオルが干してあった。信頼して下さっているようで嬉しかった。
- ・近所の方から「一人暮らしの高齢者がこの頃洗濯物が干していない、雨戸が開いていない」と連絡があり、訪問すると郵便受けに新聞がたまっていた。声を掛けたら返事があり、体の調子が悪く、腹も痛い、気持ちが悪くて食事（3日）食べていないとのこと。すぐに民生委員に相談し、民生委員から包括支援センターへ連絡。包括が対応し病院に連れて行ってくれた。
- ・1年の間にごく身近な方3名の孤独死の知らせを受け、そのうちの2名の方は60代前半の方でご近所の方、福祉関係の方の目は届かなかった様でとても残念だった。

### <ふれあい福祉委員の選出について>

- ・委員の高齢化、担い手不足 5件
- ・委員のメンバーに恵まれ安心してやりがいを持って活動できること 4件
- ・委員が一斉に変わるのではなく、ずらしながら交代していけると良いと思う。
- ・我々委員は60歳代が多く体力的に動ける。80歳代参加者の体力や運動能力に個人差もあり、軽運動でも危険に思える。
- ・仕事を持ちながら委員の役が回って来たが、訪問や見回り活動は、時間的になかなか困難。一部の人に迷惑が掛かるので、本当にできる人が委員になり活動をするようにしないと良くないと思う。
- ・年々、委員確保困難や委員会解散・休止等がある。一方では、地区代表者会議、地区会議（東秋留地区では）委員会代表の顔ぶれが変わらない、代わっていないので、計画的に交代を促進する事が必要と思う。

### <会議、研修会、講習会、アンケートについて>

- ・研修参加が負担（コロナ、夜間）2件
- ・地区研修会は参考になること

- ・研修会で情報提供を希望
- ・会議や打ち合わせのリモートを希望
- ・アンケートが負担
- ・連絡協議会、アンケートはインターネットの活用を希望

### <社協について>

- ・時期を見て行事を企画・再開を希望 2件
- ・社協の周知が必要
- ・福祉バザーの見直し（室内は難しい）
- ・高齢者が喜んだり、懐かしく思ったりする印刷物の作成を希望（昔と現在を比較したものや、死語になったことば等）
- ・ITの活用

### <その他の内容>

- ・私が空想する「理想のふれあい委員会」は社協から助成をもらわないで、自立した財源を見つけて、それを元手に地域を明るくすること。すると事務負担がなくなる。上部組織との関係が無くなる。よって、精神的に楽になる。今、廃品回収を考えている。
- ・共助が最重要（となり近所との挨拶、お喋り）自助は当然。公助はセーフティネット。
- ・間接的には高齢者に関わっているとは思いますが、ほぼ町内会の補助要員の様を感じる。
- ・いづこも同じとは思いますが、拠点となるべき町内会自体が存亡の危機に陥っている。全市的に町内会のありようを抜本的に見直さない限り、当協議会の展望も開けないのではと心配している。
- ・委員間の打合せ。統合されているか。コロナ禍だから確認。地域による格差が発生していないか調査し、不具合が発生していないものか確認する。
- ・世帯数が少ない為、活動人も少なく、いろんなことは出来なく、他の委員活動はすばらしく、うらやましい。
- ・本意の自由とは、なんであるかと言う意味を考えたい。

### <質問・要望>

- ・直接委員の活動なのか不明だが、9月ごろ近所の一人暮らしのお年寄りの方から郵便局への送迎を頼まれた。私が委員なので頼まれたのか不明だが・・・この様な頼まれ事は委員の活動なのか？今後の事もありますので問わせていただいた。この件は別用の為、断りましたが・・・

→日頃の活動ありがとうございます。送迎に関してですが、「ふれあい福祉委員だから送迎をする」という考えはありません。近所付き合いや住民同士の助け合いとしてできることであれば対応していただきたいと思います。

- ・感染が続く中では、委員会の活動は中止。活動を再開する場合は、事前に高齢者 e t c にアンケート、許可を得るようにお願いします。

→ご意見ありがとうございます。ふれあい福祉委員会の活動は、声かけ・見守り活動を中心として無理のない範囲でお願いしているところです。新型コロナウイルス感染症の影響により活動の中止・再開については各委員会で調整のうえ対応していただいております。再開にあたりアンケートや許可を得るような方法も有効と思いますので、委員会の判断で実施してください。
- ・問題が発生した時、どこに連絡して良いか判らない。市の職員の方との連絡の仕方が判らない。フィードバックがあれば安心できるけど、これからは市の方でやりますから、で終わりだった。

→日頃から地域を気にかけていただきありがとうございます。この度は、せっかくご対応いただいたのに不愉快な思いをさせてしまい、申し訳ありませんでした。市役所職員及び関係機関の専門職等に対して、できる限りのフィードバックをするよう協力要請してまいります。
- ・夜の研修会の集まりは必要な事なのか？と思った。車等で乗り合わせる事もコロナ感染を考えると不安になるし。会場も換気をしている為とても寒いし、配布されたプリントを読み上げるだけなら各自自宅で読むことで良いと思う。主婦業、仕事等の貴重な時間を使って、風邪をひいたりコロナウイルス等に感染したら・・・と考えると集まりが必要な事か？(あきる野市内も感染者が増えている。この時期の集まりは参加したくない。)

→ご意見ありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、次年度からは研修会等の実施形態を変更し対応する予定です。情報交換や連絡等の必要事項もありますので、集まらずに効果が出せるよう工夫します。
- ・地区会議、地区研修会等は行わなくても良いのでは！徐々に参加者が少なくなっている様に思う。なぜですかね？あまり必要ではないと思っている方が多いと思う。その地区の委員で話し合い、1年間の内容を決めて、見守り、行事を行っている。地区の方達に任せて置いたら良いのでは？判らない時、困った時等に社会福祉協議会へ相談に行ったら良いと思う。

→ご意見ありがとうございます。地区会議及び地区研修会についてはふれあい福祉委員の皆様からの希望もあり実施してきましたので、新型コロナウイルス感染症の影響により実施形態を変更し対応する予定です。ご意見のとおり、困ったことがありましたら社会福祉協議会へご相談いただけるよう周知させていただきます。
- ・あきる野に住んで20数年になるが2～3年前頃から“次はお宅がふれあいの順番よ”と言われていた。ふれあいの歴史や活動を具体的に示されず半ば強制的な指名に不満があった。長い間（現在もそうだが）障がい者施設と高齢者介護現場で働き、2カ月毎に親の介護で九州の往復を続けていた。目的あつての活動であれば(自身の主張と重なれば)動けるが。社協から決められている、予算が決まっているなど、これらを消化するため

の委員活動(?)は必要かどうか考える。80歳以上の方に敬老会プレゼントの手渡しは好評、75歳以上の方にシクラメン鉢を届けた際も喜ばれた。

→日々の活動ありがとうございます。ふれあい福祉委員の担い手については、町内会長・自治会長に依頼してご推薦いただいております。地域において強制的な指名があったとのことですので、趣旨を理解して活動できる方をお願いするよう改めてご説明をさせていただきます。

- ・子供が使用したシャーペン・ボールペン・ノート等、捨てるに捨てられず、外国の子供たちに使ってもらえる事は出来るか？

→ご意見ありがとうございます。海外へ教育支援物資をご提供している団体にお声かけすることはできますので、個別に社会福祉協議会へご相談ください。また、未使用でしたら福祉バザーへのご提供もご検討ください。

- ・毎回の訪問時の持参品は、これからも必要なのか？

→訪問活動のご対応ありがとうございます。訪問時に持参品については必ず持っていくものではありません。話のきっかけに持っていく委員会が多いですが、持っていき・持っていかない、持参品の内容等については各委員会で決めていただいております。

- ・男性80歳の見守りを担当している。この男性の小中学校からの同級生と言う男性が、食事からトイレの掃除まで世話をしている。今後のヘルパーさんとか特養の世話まで考えているようだ。コロナ禍なのに。同級生にふれあい福祉委員会から表彰しては？

→ご意見ありがとうございます。住民同士の助け合いの理想のような関係ですね。ご自身のふれあい福祉委員会において代表者名で表彰することは可能ですので、委員会で話し合ってみてください。

- ・社協、あきる野市、都との連携は？

→市役所とはふれあい福祉委員会事業に限らず、適宜連携を図っております。東京都とは直接の関りは無く、東京都社会福祉協議会と連携しております。

※赤字は事務局より回答